

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 8 月 22 日	担当部署	産業観光部 産業振興課
-------	------------------	------	-------------

※以下は平成 30 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	有限会社 やまざくら				
代表者名	取締役 岩野 虎治				
	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1				
設立年月日	平成 9 年 7 月 14 日	資本金	11,600 千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営、米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水及び日用雑貨の販売、惣菜の製造販売等の事業を行うため。				

3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	—	—	0				
	非常勤	1	1	2	2			
	計	1	1	2	2			
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	0				
	パート職員等	—	—	9	9			
	計	—	—	11	11			

4 主な事業

(1) 大島やまざくらの管理運営
(2) 大島やまざくらの経営（米穀類、農産物、花卉、食料品、日用品雑貨及び酒類、たばこの販売）
(3) 惣菜の製造販売
(4)
(5)
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

- ・平成 29 年度（第 21 期）の営業収益（売上高）は、平成 28 年度（第 20 期）の売上高に同年度の指定管理料（税抜 3,558 千円）を加算した場合の 63,810 千円と比較すると、1,211 千円の減（1.9%の減）の 62,599 千円となった。夏期の大暑や冬期の積雪等による店舗部門の来客数の減、地域の高齢化に伴う買い物人口の減少及び購買力の低下などが要因と考えられる。
- ・営業費用のうち、売上原価では、POSレジの活用により、前期との比較で 1,793 千円の減（3.8%の減）の 45,282 千円となり、一般管理費及び販売費では、施設の老朽化による修繕費の増や移動販売車両の車検費用等により、前期との比較で 328 千円の増（2.2%の増）の 15,223 千円となった。これにより営業費用全体では、前期との比較で 1,465 千円の減（2.4%の減）の 60,505 千円となり、営業利益は 2,094 千円となった。
- ・当期純利益は、前期との比較で 400 千円の減の 2,122 千円となり、当期（第 21 期）末の欠損金は、前期（第 20 期）末の 4,143 千円から 2,021 千円に改善された。

【平成 29 年度（第 21 期）の営業概要】

- ・高齢者を中心とした地域住民への新商品のチラシ配布などPR活動を実施した。
- ・POSレジの活用やシフト体制の合理化により経費を削減した。
- ・平成 28 年度から引き続き試行販売として、浦川原区で移動販売を実施し、利用者及び売上の増となった。

【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	平成 27 年度 （第 19 期）	平成 28 年度 （第 20 期）	平成 29 年度 （第 21 期）
店舗	目標	57,600	56,000	55,000
	実績	47,513	46,568	42,496
移動販売	目標	6,720	3,100	3,100
	実績	4,004	4,133	4,207
合計	目標	64,320	59,100	58,100
	実績	51,517	50,701	46,703
※試行販売	実績	—	868	1,393

※試行販売：浦川原区移動販売

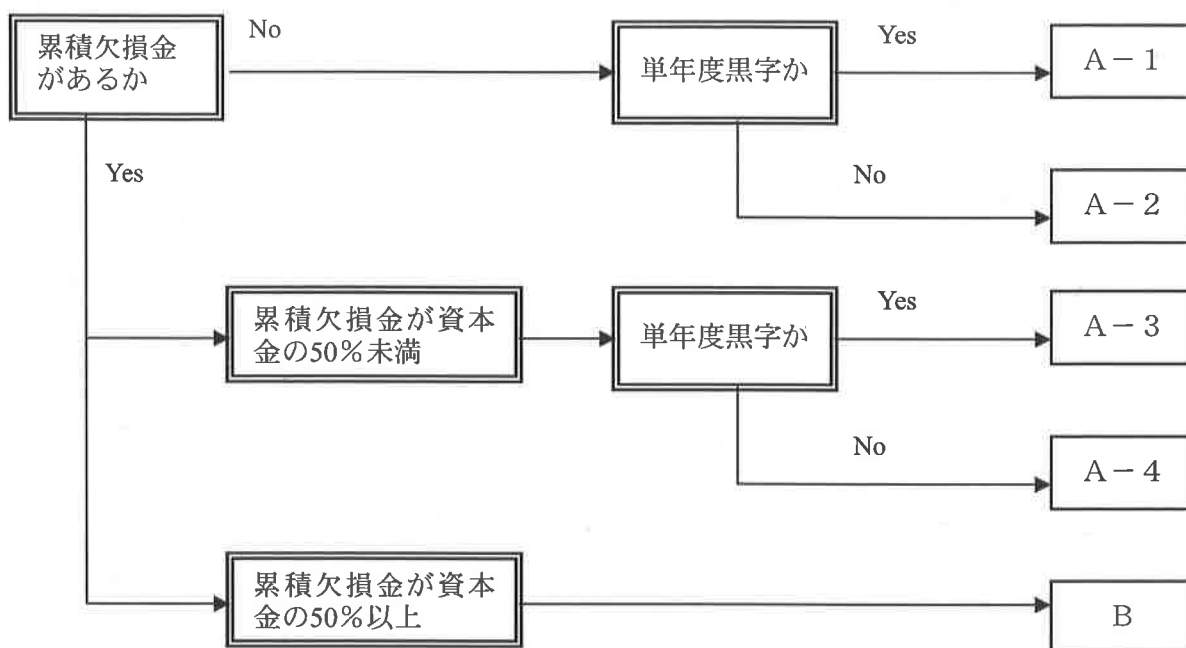
6 財務状況

(単位:千円)

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
		自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	
損益計算書	営業収益 (売上高)	65,483	63,810	62,599	
	営業費用	62,915	61,970	60,505	
	売上原価	47,242	47,075	45,282	
	一般管理費・販売費	15,673	14,895	15,223	
	営業利益	2,568	1,840	2,094	
	営業外収益	509	912	899	
	営業外費用	73	50	37	
	経常利益	3,004	2,702	2,956	
	特別利益	1,334	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期利益	4,338	2,702	2,956	
	法人税等	180	180	834	
	当期利益	4,158	2,522	2,122	
項目		平成 28 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在	備考
貸借対照表	資産	11,847	12,985	16,245	
	負債	6,912	5,528	6,666	
	純資産	4,935	7,457	9,579	
	資本金	11,600	11,600	11,600	
	剰余金・欠損金	△6,665	△4,143	△2,021	
その他	0	0	0		

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-3
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

4期連続で単年度黒字を計上しました。また、平成30年3月末の累積欠損金は2,021千円となり、資本金11,600千円に対する比率は、前期末の35.7%から当期末は17.4%（△18.3%）に改善されました。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	大島やまざくら指定管理委託料（税込）	4,587	3,843	4,252	
②	大島ゆきわり荘施設維持管理業務委託（税込）	—	454	454	
	計	4,587	4,297	4,706	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
	計	0	0	0	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

・平成 30 年度（第 22 期）は、売上高 67,515 千円、経常利益 2,185 千円を目標に掲げ、更なる経営健全化に向けて次の取組を行う。

- ① 店舗利用者数減少に伴う売上減少対策として、利用者の要望に対応するとともに各仕入先と連携強化することで品揃えを充実させ、売上と利用増に努める。
- ② POSレジの有効活用により、廃棄商品等を削減するなど商品管理を徹底し、収益性の改善を図る。
- ③ 移動販売部門において、販売路線の見直しを行うなど地域利用者の要望にあった内容に改善を図り、売上と収益の安定化を図る。

【売上目標】

(単位：千円（税抜）)

	店舗	移動販売	(市委託額)	合計
平成 30 年度 (第 22 期)	53,550	9,600	(4,365)	67,515

(2) 中長期経営計画

あり

第 2 1 期

決 算 報 告 書

平成 2 9 年 4 月 1 日から

平成 3 0 年 3 月 3 1 日まで

有 限 会 社 やまざくら

(法人番号:2110002022905)

第21期有限会社やまざくら事業報告書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

総括

平成29年度の県内の食料品販売業界を取り巻く経済環境は、国の政策の好影響がいまだに及ばず人口減少や消費者購買意欲の低迷など好景気の実感が伴わない状況であります。

また大手スーパーだけでなく、ドラッグストアにおいても食料品等の販売が強化され、競争が激化するなど食料品販売業界にとっては厳しい状況でありました。

大島区においても、ここ数年の中で29年度の人口減少が最高.となるとともに、高齢者の一人暮らし家庭や車の運転が出来ない家庭が増加傾向にあることから、高齢者を中心に店舗まで出向いて買い物が出来ない方々が増えております。

一方で移動販売車による販売は28年度の途中から浦川原区の一部地区で試行販売を実施し、採算確保が出来る売上げであったことから29年度も引き続き継続実施を行ったこともあり、地域の方々から喜ばれるとともに利用者数と売上げが増となっております。

また、市の紹介による中小企業経営診断士協会の診断を受けたことにより従業員の販売促進及び在庫管理に対する意識の向上が図ることができ店舗利用者の減少による売上げ減少にもかかわらず、経常利益を目標以上の達成とすることが出来ました。

前期と比較し決算上での大きな変化として、赤字決算による5年間の税優遇措置(定額180千円課税)が終了したことに伴い、今期より純利益に対して約30%が課税されることとなりました。

このような状況下、今期の総売上げ66,112千円、経常利益1,806千円、純利益1,264千円を目標に事業展開に取り組んでまいりました。

しかし、今期の純売上げ62,599千円(目標比94,6%)、経常利益2,956千円(目標比163,6%)、純利益2,122千円(目標比167,9%)となり、総売上げは目標に達しなかったものの、経常利益及び純利益が目標を上回る実績を上げることができました。このことから次期に繰り越す累積欠損は2,021千円となり、平成30年度22期末の解消が見えてまいりました。

以下部門の決算状況について報告いたします。

1、店舗部門

店舗販売利用者数は42,496人(前期比89%)、売上48,388千円(前期比93%)、経常利益△1,149(前期比129%)の実績となりました。利用者数及び売上げは前期より下回った原因として、大雨や夏期の暑さ、冬期の厳しい寒さなど異常気象による店舗まで出かける方の減少と急速に進む地域の高齢化等による買い物人口の減少が大きく影響しているものと捉えております。

そのような中でPOSレジシステムの活用による商品仕入れの適正化を進め廃棄品の減少に努め、売上総利益率22,3%となり前期比0,8%増益を図ることができました。

1、移動販売部門

浦川原区内の一部地区で引き続き試行販売が継続したこともあり、利用者数は延べ5,600人(前期比112%)増、売上げも10,275千円(前期比123%)増の実績となりましたが、移動販売車両の車検経費や燃料費が高い水準で推移したことから経費が嵩み、経常利益は△203千円(前期△114千円)となりました。

損益計算書

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高 売上引戻り	62,599,607	△ 62,599,607 3	62,599,604
II 売上原価 期首仕入 期末仕入 売上総利益	45,306,669	2,071,840 45,306,669 47,378,509 2,096,512	45,281,997 17,317,607
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費 営業利益		15,223,315	15,223,315 2,094,292
IV 営業外収益 受取配当 雑収入		49 64 899,009	899,122
V 営業外費用 支払利息		36,937	36,937
経常利益			2,956,477
VI 特別利益		0	0
VII 特別損失		0	0
税引前当期純利益			2,956,477
法人税、住民税及び事業税		834,620	834,620
当期純利益			2,121,857

株主資本等変動計算書

有限会社 やまざくら

平成29年 4月 1日から

平成30年 3月 31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		11,600,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>11,600,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		-4,143,072
	当期変動額		
	当期純利益	2,121,857	2,121,857
	当期末残高		<u>-2,021,215</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		-4,143,072
	当期変動額		
	当期純利益	2,121,857	2,121,857
	当期末残高		<u>-2,021,215</u>
株主資本合計	当期首残高		7,456,928
	当期変動額		
	当期純利益	2,121,857	2,121,857
	当期末残高		<u>9,578,785</u>
II 評価・換算差額等	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計	当期首残高		7,456,928
	当期変動額		
	当期純利益	2,121,857	2,121,857
	当期末残高		<u>9,578,785</u>

△

個 別 注 記 表

平成29年 4月 1日から

平成30年 3月 31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

ただし、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3)長期前払費用

期間均等償却を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要項目

(1)リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

なお、未経過リース料総額は、1,147,392円であります。

5. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

9,003,180円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

232株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、41,287.86円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、9,145.93円であります。

以 上

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員旅費	3,926
広告宣伝費	80,943
発送配達費	17,859
支払手数料	1,668,464
役員報酬	570,000
給料・賞与	3,178,757
雑給	3,815,943
法定福利費	477,294
厚減価償却費	116,696
リース料	16,933
一事務用品	1,170,062
修繕費	176,224
通信費	110,339
水道光熱費	161,920
水光付交際費	2,157,057
接待交際費	5,000
接保料	4,630
備品消耗品	47,910
車費	232,839
諸会議費	428,991
会費	99,500
議費	4,097
衛生費	393,975
倒産償却費	992
雑費	282,964
合 計	15,223,315

たな卸資産の計算内訳

平成30年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品・材料	2,096,512
貯蔵品	117,759
合 計	2,214,271

第 22 期

事業計画書(案)

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31日まで

目 次

貸借対照表

損益計算書

住所 新潟県上越市大島区大平3874番地1

会社名 有限会社 やまざくら

代表社名 代表取締役 岩野虎治

第22期有限会社やまざくら事業計画書(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

政府は日本経済の取り巻く経済環境は人口が減少していく中でも、日本経済をはじめ、企業の持続的成長を図るための「働き方改革」を掲げており、大きな労働環境の改善をスタートさせる年とされている。

食料品販売業界においても、同様に営業時間の見直しやネットによる販売、高齢者等の買い物弱者への対応が進められている。

当(有)やまざくらスーパーを取り巻く環境は、大島区の人口減少の加速に加え地域の超高齢者の増加が高まる中で、店舗まで出向いて買い物をされる方の減少がさらに進むなど店舗経営は非常に厳しい状況下にある。

このような状況下において、(有)やまざくらスーパーは創設理念に基づき大島区民の日常生活での必須である食料品の販売を通して、大島区の住民をより豊かにする「暮らしの交流拠点」としていくために、買い物の楽しさの場を提供することでお客様から親しまれる接客対応を進めるなど利用者増を図るとともに、利用者のニーズに対応した営業時間の試行や品揃えを行うなど売上げ増に努める。

また、店舗まで出向くことが困難な買い物弱者の方々の対応として移動販売車を運行している地域の利用者数及び売上げが年々増加傾向にあることから、地域の皆様との意見交換を実施するなど地域利用者ニーズにあった内容となるよう改善を図ることで、売上げと収益の安定化を図る。

安定した経常利益の確保を図るため、各仕入先との連携による商品のPOSレジシステムの有効活用による的確な作業効率を図ることで、商品仕入れや在庫管理の適正化をさらに進め、廃棄商品等の削減につとめる。

数値目標として22期の総売上67,515千円((前期目標比102%)、経常利益2,185千円、(前期目標比121%)、純利益1,709千円(前期目標比135%)を掲げ上越市の指定管理委託を遵守し、昨年度の中小企業診断士協会から指摘された経営改善の取組みを進め、役職員一丸となり事業計画以上の実績を確保し、累積欠損の解消に努める。

記

1、 店舗部門

- ・ 区内の人口減少による店舗利用者数も減少に伴う売上げ減少対策として、品揃えの充実を図るため、従来に増して各仕入先と密接な連携強化に努めると同時に利用者ニーズに対応するなど売上げと利用増に努める。
- ・ POSレジシステムの有効活用による的確な作業効率を図ることで、商品仕入れや在庫管理の適正化を進め、廃棄商品等の削減に努め、利益率の向上を図る。

2、 移動販売部門

移動販売車を利用者要望に対応するため、販売路線の見直しを図るなど地域利用者ニーズにあった内容に改善を図り、売上げと収益の安定化を図る、

平成30年有限会社やまざくら事業計画書

(単位 千円)

科 目	総合収入	委託料	店舗部門	移動販売	摘 要
売 上①	63,150		53,550	9,600	店舗357日×150千円=53,550千円 移動販売 240日×40千円=9,600千円
その他売上②	4,365	4,365			指定管理料4,365千円(税抜き)
総売上③ (①+②)	67,515	4,365	53,550	9,600	
原価④	48,969		41,769	7,200	店舗77.8%移動7.5%
粗利益⑤ (③-④)	18,546	4,365	11,781	2,400	
役員報酬	600		600		社長45千円×12ヶ月=540千円 監事60千円
職員	4,596		4,596	0	職員150千円×2人×12ヶ月=3,600千円 手当2人×4000円×12=96千円 賞与3月×150千円×2人=900千円
パート	3,400	240	1,600	1,560	店舗1.5人1,600千円、移動販売3人1,560千円 ゆきわり荘管理240千円
法定福利費	707		707		店舗健康保険250千円、厚生年金439千円、雇用保険14パート雇用保険4
厚生費	120		120		店舗中退共120千円
人件費計⑥	9,423	240	7,623	1,560	
旅費	30		30	0	店舗30千円
広告宣伝費	72		60	12	店舗60千円 移動12千円
容器包装費	25		15	10	店舗15千円 移動10千円
発送配達費	20		20		店舗20千円
リース	1,449		782	667	店POSレジ300千円ZPS422千円HTT60千円 移動軽自動車667千円
支払手数料	1,555		1,555	0	店舗運賃仕入80%千円×1.7%538千円 指導費300千円組合費60千円 税理費542千円 保険事務25千円 その他90千円
減価償却費	100		100	0	店舗100千円
地代家賃	0		0	0	
修繕費	150		100	50	店舗100千円 移動50千円
事務用消耗費	110		100	10	店舗100千円 移10千円
通信交通費	160		150	10	店舗150千円 移動10千円
水道光熱費	2,304		2,304	0	店舗電気料190千円×12ヶ月=2,280千円 ガス2千円×12ヶ月=24千円
租税公課	180		180	0	店舗180千円
接待交際費	10		10	0	店舗10千円
保険料	121		33	88	店舗火災保険33千円 移動自動車保険88千円
備品消耗品費	320		300	20	店舗300千円 移動20千円
車両費	360		120	240	店舗120千円 移動240千円
諸会費	102		100	2	店舗組合費60千円 商工会費40千円 移動2千円
環境衛生費	408		408	0	店舗浄化槽84千円 廃棄物処理費18千円×12ヶ月=216千円 清掃108千円
雑費	214		194	20	店舗除雪費ほか150千円 有線放送44千円 移動販売20千円
販売管理費計⑦	7,690		6,561	1,129	
小計⑧	17,017	240	14,184	2,689	
営業損益⑨ (⑤-⑧)	1,433	4,125	-2,403	-289	0
営業外収入⑩	789		789	0	
雑収入	789	0	789	0	原発助成178千円 自動販売機200千円 ゆきわり荘389千円 その他22千円
受取利息	0	0	0	0	
営業外費用⑪	-37	0	-37	0	
支払利息	-37	0	-37	0	
経常損益⑫ [(⑨+⑩)-⑪]	2,185	4,125	-1,651	-289	0
法人税等⑬	-476				
純利益⑭ (⑫-⑬)	1,709				0